



◆兵庫県の事業補助を受け、就業・起業のサポート事業を行なっています。厚生労働省認可「無料職業紹介所」です。

NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸
生きがいしごとサポートセンター神戸 東
〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町 2-13-1 森田ビル 3F
TEL 078-841-0387 FAX 078-841-0312
E-mail ⇒ info@cs-wallaby.com
URL ⇒ <http://www.cs-wallaby.com>

～水難事故から命を守り、自然との共生をめざす～

神戸ライフセービングクラブ

起業レポート

夏になると、海水浴客で賑わう海岸や浜辺。大勢の人が海水浴を楽しむ一方で、水難事故も後を絶ちません。そんな中、須磨海岸や舞子浜を中心に救命・救助のパトロール活動を展開しているのが「神戸ライフセービングクラブ(NPO法人申請中)」です。整体院の院長として働きながら、ライフセーバーとしても活躍する代表の山根嘉樹さん(52歳)にお話をうかがいました。

-ライフセーバーはどんな活動をしているのですか？

主に、海やプールでレジャーを楽しむ人々を見守る活動、事故を未然に防ぐ活動、そして実際に事故が発生した場合に迅速に対処する活動を行っています。豪州やアメリカではプロのライフセーバーもいて、スポーツとしても楽しまれていますが、日本ではようやく近年になり認知度もあがってきたところです。日本ライフセービング協会や日本赤十字社などで、講習を受け試験に合格すれば、ライフセーバーとしての資格を取得することができます。



-団体の成り立ちを教えてください。

1990年に、私を含めた30人ほどが豪州でライフセービング講習を受講する機会がありました。現地で「資格を取って終わりではなく、取得した知識や技能をいかに人々や地域に役立てることができるかが大事」と言われ、その仲間とともに94年にクラブを立ち上げました。

-現在の活動内容を教えてください。

須磨海岸や舞子浜等でのパトロール活動を中心に、小学校での着衣泳教室なども実施しています。夏季がメインですが、いつでも活動できるように、年間を通じてトレーニングを積んでいます。人命救助にも携わり、

消防署からも何度か感謝状をいただきました。命と真正面から向き合う活動でもあり、生命の尊さや自然の偉大さを体感させられます。

-クラブのメンバーは何人くらいですか？

現在のメンバー数は100人くらいで、その8割が社会人です。会社員、教師、消防士、自営業の人等、様々な職種の人が仕事の合間を縫って、ライフセーバーとして活動しています。

-なぜNPO法人を申請しようと思われたのですか？

当初はボランティア団体として発足しましたが、海水浴場でのパトロールなど、行政からの業務委託を受け、「事業」として実施する機会が増えてきました。組織として事業契約し、さらに幅広い活動を展開するために法人化を決めました。申請にかかる手続きのことなど、ワラビーには大変お世話になりました。

-将来の展望や夢を教えてください。

ライフセービングの普及はもちろんですが、一般の人にも、もっと海や自然に親しんでもらいたいと思っています。「海の水泳教室」、「スキューバダイビング(素潜り)で生物探検」、「海中エクササイズ」、「砂浜ウォーキング」など、やりたいことはいくらでもあります(笑)。近年、心の痛ましい事件が増加し、環境問題も深刻になる一方ですが、ライフセービング、そして自然体験活動などを通じて、地域社会に貢献できればと思っています。

神戸ライフセービングクラブ (NPO法人申請中)

事務局 神戸市中央区布引町
2-1-18 山根整体院内
TEL 090-4305-0012
URL <http://www2.117.ne.jp/~assy/>



「NPOの生命は社会を変えて行くこと」と、今田講師

NPO法制定から10年、NPO をとりまく環境の変化が激しい今、ワラビーでは「NPOの今と将来を考える」セミナーを3回シリーズで企画しました。その第1回、7月26日(土)開催の内容(要点)をご報告します。

講師は今田忠さん。市民社会研究所長、NPO学会顧問のほかNPO法人の役員等を兼ねる中からの、研究と実践に基づく講話であり、NPO法制定以前からの歴史と現状、将来への展望が分かりやすく話されました。

第1セクター(行政)、第2セクター(企業)に対する第3セクター(NPO/NGO)の特性は、「民の公益」であり、市民ニーズに応じた自由な発想、先駆的な動きが強みと言えます。「官の公益」である行政との協働はもとより、CSRや社会貢献を重視する企業ともWIN WINの関係で協働できる時代になり、広義のNPOとしての公益法人改革も進んでいます。

結論は、「NPOの生命」についてでした。「社会を変えて行くこと」こそ生命であり、そのためにアドボカシー(政策提言)が最も大切。常に「何のためにNPOを作ったか」を考える。つまり、たえず原点に戻ることが目的達成への道。

受講者はNPO法人代表やスタッフ、これから設立を考える人、NPOに関心ある人など多彩で、最後に設けた交流タイムでは質問・意見が続出しました。例えば海外と日本の非営利団体の違いは？との問いに、「米国では、建国の精神に由来するのか自立精神が旺盛で、『官』に頼らない市民活動が活発」など、興味深い話題が多く出ていました。

「日本のNPOは実践的な活動をしていないのではないか？もっと動いて国民の意識改革をするべきでは？」という意見



セミナーの様子(右奥が今田さん)

に対しては、受講者の1人、CS神戸の中村理事長から次のようなコメントがありました。「NPOは政治を主たる目的としてはいけないと自制し、政治との結びつきが弱すぎたのは反省点。しかし、市民活動は草の根的に増え、社会への影響力は増し、NPOへの就職も増えている。これからはNPOのネットワークを組み、大きな公益法人、LLCなど色々な組織形態の非営利セクターを設立し、自由に渡り歩いて、他のセクターに影響力を与えて行きたい。」



「公益法人制度改革が非営利セクターにもたらす影響」

～公益認定のキーマンに聴く～

講師 小森 星児さん

(ひょうごボランティアプラザ所長・兵庫県公益認定等委員会委員長)

今年12月、新しい公益法人制度が施行されます。約1世紀前に法制化され、設立根拠の不明瞭性、天下り・随契、税制優遇の公正性など多くの問題を内包する従来の制度でした。懸案を解決し、民間が担う公共活動の健全な発展を促進させるための抜本的な見直しと改革が行われたとされますが、NPO法人等の非営利セクターへの影響が気になるところで。改革のポイントや実際を正確に把握し、今後の展望をご一緒に考えることができるセミナーです。

新制度では、公益社団・財団としての認定は、民間有識者で構成される委員会が行います。今回の講師には、兵庫県公益認定等委員会の小森委員長をお招きします。意見交換も含め、具体的なことが学べる良い機会です。NPO法人、公益法人の活動に関わる方、「民による公益」について興味関心のある方はぜひご聴講ください。

日時 2008年 9月 6日(土) 講話14:00～15:30 質疑応答・意見交換15:30～16:00

会場 生きがいしごとサポートセンター神戸東(ワラビー)

お申込み…まずはお電話ください!

定員 20名(受付順) 費用 1,000円

078-841-0387 担当:狩野・飛田



予告 10月11日(土)「指定管理者という公の道具の使い方」 柏木宏さん(大阪市立大学大学院教授)

こんな人を求めています

地域貢献やコミュニティの形成につながる仕事を紹介しています。
求人票の登録大歓迎。既に就業が成立した場合はご了承下さい。

No	求人団体名	職種	条件(勤務地/勤務日/勤務時間/給与/その他)
B-526	ふれあい 介護センター MGS東灘	訪問介護ヘルパー	未経験でもO.K.一から指導します。 最寄駅 阪神石屋川 資格 ヘルパー2級 勤務日 応相談(週1日～) 勤務時間 応相談(8:40～17:40の中で1時間以上) 給与 身体介護 時給1,500円 生活援助 時給1,100円 交通費 実費
B-556	NPO法人 S-space	学童保育指導員	知力・体力・時の運、それに表現・責任を！！をモットーに子どもたちと関わっています。シフトにより三つの事業所での勤務の場合があります。 最寄駅 王子公園、六甲道 資格 特になし(保育士、教諭免許があれば尚良し) 勤務日 月～土のうちで応相談(行事等の場合は日・祝の出勤もあり) 勤務時間 13:30～19:30の中でシフト制(小学校の長期休暇時は8:00～) 給与 時給800円(試用期間中3ヶ月は750円) 交通費上限800円/日 賞与あり 保険 雇用、労災
B-561	社会福祉法人 木の芽福祉会 御影倶楽部	昼食作り (30食前後)	精神障がいのある人たちの施設での昼食作りです。障がいのあるメンバーとスタッフが対等で、明るく元気な職場です。 最寄駅 阪神御影 資格 不問 勤務日 週2日(月・金) 勤務時間 9:30～14:00(休憩30分) 給与 時給850円 交通費上限1,000円/日 保険 労災 試用期間 3ヶ月
B-566	NPO法人 つながり	作業所支援員	仕事内容は、障がいのある人とパンや焼き菓子などを作る作業所の運営(製造から営業まで)です。自分の力を存分に発揮できる場所です！ 最寄駅 阪急西宮北口 経験・能力 PC操作(ワード、エクセル) 勤務日/時間 変形労働時間制 1ヶ月単位(44時間) 休日 週1日 給与 150,000～180,000円 交通費 上限10,000円/月 保険 健康、厚生、雇用、労災 試用期間 3ヶ月
V-103	朝霧小学校敬老会 実行委員会	ボランティア募集	マジック、漫才、落語、漫談、その他楽しい企画なら何でも！ 活動内容 敬老会の企画・開催 募集内容 朝霧小学校敬老会 アトラクション出演者 活動日時 9月15日(月) 13～15時のうち 15～20分 活動場所 明石市 交通費・謝金 なし

こんな仕事や職場をさがしています

就業先をお世話いただける方は、
ワラビーまでご連絡を！

No	お名前	こんな仕事をさがしています	ひとことメッセージ
062	Fさん(男・38才)	社会教育に関するしごと	科学博物館に勤務していた経験を活かしたい
066	Oさん(女・55才)	健康管理士を活かせること	健康増進や生活習慣病の予防などの健康管理の仕事がしたい
070	Kさん(男・32才)	コミュニティに関わるしごと	NPOで、やりがいのある仕事したい

起業情報

ご自身も起業を考えるなど、ご興味がある方は、ワラビーまでご連絡ください。

No	お名前	事業内容	実施地域	ひとことメッセージ
019	Sさん(44才)	コーチングの普及	神戸市	コーチングの公益性を強調したく、NPO法人化を目指します
049	Yさん(58才)	国際交流支援	神戸市	オーダーメイドで安心な旅行や留学プランを提供します

「いろいろな人と出会いたい、話がしたい」と、神戸・岡本で日本茶カフェ一日(ひとひ)を開業した遠城さん。既存のカフェとは差別化を図ることで「一日でお茶を楽しむ」という客層を掴んでいます。さらに、新進のアーティストに無料でスペースを貸し出し、集客につなげています。

外資系企業を退職後、調理師免許を取得するなどの時期を経て、起業に向け本格的な準備を開始しました。その際、一番力を注いだのは「事業計画作り」だったと言います。連日何時間も図書館にこもり、入念にプランを練り上げました。「起業は、本当に本当に大変なこと。ゴールではなく、それがスタートです。事業への思いがあり、覚悟はあるが、最後の一步が踏み出せないという方、ぜひ自分のプランをお持ちください。業種に関係なく、皆でディスカッションをすることで、得られることがきっとあると思います。」

経験者だからこそできるアドバイス、そして同じように起業に向け準備中の方たちとの意見交換で、次の一步を踏み出せるかも知れません。ぜひ、事業計画を持って、ご参加ください。



日 時 2008年 9月 18日(木) 19:00~20:30
 会 場 生きがいごとサポートセンター神戸東 (ワラビー)
 講 師 遠城 靖 さん (日本茶カフェ 一日 オーナー)
 受 講 料 1,000円 078-841-0387 担当: 狩野・飛田
 お申込み…まずはお電話ください！事業プランの様式についてご説明します。

リレーエッセイ(41) 「私の生きがいごと」

あとりえ・クルレ
おぶない ゆきお
 小武内 行雄さん (灘区・33才)

以前は県外の中小企業にて広告・出版関係の仕事に従事していましたが、常に締め切りに追われる「逆算型」という仕事の性格上、午前様や休日返上は当たり前。仕事内容そのものに対しては非常にやりがいを感じる反面、本来失ってはならない何か大切なものを剥奪されている様な、言うに言えない空虚感に苛まされてもいました。20年30年というスパンで人生を考え、本当にこのままでいいのか？と、職を失う上での様々なリスクと葛藤し、悩みに悩んだ末、退職を決意しました。



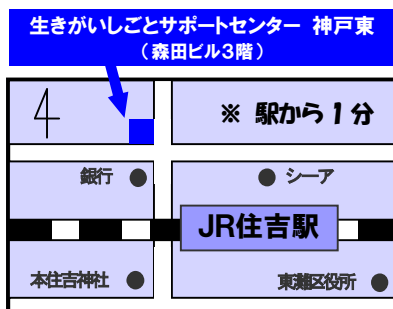
幸い仕事の話に恵まれ、現在非常勤職をいくつか掛け持つ状況ですが、「コミュニティ回帰」というものが、失った中で見えてきた1つの答えでした。その後も色々な人と出会い、巡り巡ってワラビーとのご縁も授かる事に…。そこでご紹介頂いたのが神戸市垂水区にある絵画教室「あとりえ・クルレ」でした。

教室に通う子ども達は健常者あり、障がい者あり、と実に様々。しかし教室内の雰囲気には「健常」「障がい」という隔てはなく、1人の「人間」としてお互いが支え合い、表現する事を通して本来備わっている個々の力を開花させるのです。私自身お手伝いをさせて頂く傍ら、子ども達からパワーをもらおうと同時に、たくさんの事を学ばせて頂いております。

非常勤という立場上、収入面で決して楽と言える状況ではありませんが、これからも様々な出会いや経験を通じて、本当の意味での「豊かさ」を実現していきたいと思っています。

NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS神戸)

生きがいごとサポートセンター神戸東 (愛称:ワラビー)



〒658-0051
 神戸市東灘区住吉本町2-13-1 森田ビル3階
 (JR神戸線「住吉」駅北西すぐ)
 TEL: 078-841-0387
 開室日: 月曜日~土曜日 (日・祝休み)
 開室時間: 9:30~17:30
 ★★★★★★★★★★
 「生きがいごとサポートセンター」事業は、他に「阪神北」、
 「阪神南」、「神戸西」、「播磨東」、播磨西」があります。
 詳しくは上記までお問合せください。

編集後記

ヒグラシのカナカナ…
 という声を聞くと「夏が
 終わってしまう！でも宿題
 が終わってない！」とあせ
 っていた小学生の頃を思
 い出します。もう宿題はあ
 りませんが、なんとなく夏
 が終わってしまうのが寂し
 いような。つい最近まで暑
 い暑い、と文句ばかり言っ
 ていたのに、なんと勝手
 なものです…。(A)